

瑞浪ポーノポークの生産方法

「瑞浪ポーノポーク」は、

瑞浪市大湫町に農場を持つ有限会社カタノピッグファームが、母豚に岐阜県が独立行政法人農業生物資源研究所と農林水産先端技術産業振興センターと共同開発した、豚肉の霜降り割合を増加させる能力を持つデュロック種豚「ポーノブラウン」を交配して生産された肉豚です。

瑞浪ポーノポークの特長

「瑞浪ポーノポーク」の選定

ロース部位のカット面を1頭ずつ観察し、肉色が良好であり、「豚肉の霜降り割合評価スコア」による評価値が「2」以上であった枝肉のみを「瑞浪ポーノポーク」として認証し販売に供しています。

＜肉質を追求した交配様式＞

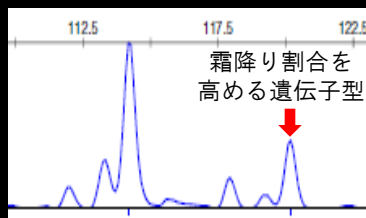
ランドレース種 (L種) ↓ 大ヨークシャー種 (W種)

母豚 (LW種)

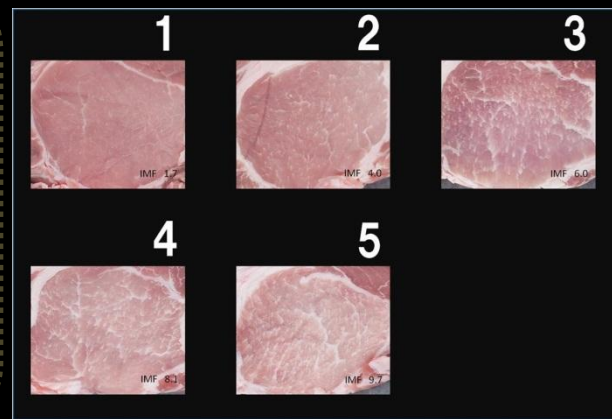
父豚「ポーノブラウン」 (デュロック種: D種)

岐阜県畜産研究所にて繋養

ポーノブラウンの開発
霜降り割合に関連する染色体領域をDNA解析により特定



霜降り割合を増加させる染色体領域を持つ個体を選抜



「豚肉の霜降り割合評価スコア」

瑞浪ポーノポーク (LWD種)

＜肉質を追求した専用飼料＞

「瑞浪ポーノポーク」には、日本農産工業株式会社と岐阜県が共同開発した、**抗酸化能とオレイン酸を多く含む植物性原料**を含み、飼料中の**アミノ酸バランス**を調整した専用飼料を給与しています。

これにより、「瑞浪ポーノポーク」の平均霜降り割合は、一般的な豚肉(3.2%)の約2倍(6.1%)となっています。

(岐阜県畜産研究所養豚研究部調査結果)